

2016 年度 報告書

チャイルドラインやまぐち



特定非営利活動法人 子ども劇場山口県センター

チャイルドラインとは…

18才までの子どもがかける子ども専用電話です。

「チャイルドライン」は、楽しかったこと、悲しかったこと、淋しかったことなど、どんなことでもOK。匿名でかけられ、秘密は絶対に守られ、いやだと思ったら切っていい、子どもに主導権がある電話です。

電話をかけてきた子どもたちは、話すことで心を開放し、ほっとしたり、混乱した感情を整理することができます。

チャイルドライン 4つのやくそく

1. ヒミツはまもるよ
2. 名まえは言わなくてもいい
3. どんなことでも、いっしょに考える
4. イヤになったら、切っていい

※「チャイルドライン」は認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センターの登録商標です。

2016 年度「チャイルドラインやまぐち」報告書

発行日 2017年8月
発行者 チャイルドラインやまぐち
発行所 特定非営利活動法人子ども劇場山口県センター

〒755-0018 山口県宇部市錦町2番5号 TEL 0836-32-4287 FAX 0836-32-4288
e-mail npokodomo@olive.plala.or.jp URL <http://www.kodomoymg.jp>

はじめに

チャイルドラインでは、電話をかけておいでいつでも待ってるよと、毎年子どもたちに電話番号を知らせるカードを配ります。山口県では3ライン(やまぐち、岩国ステーション、しものせき)が協力して県内中の小・中・高校にカードを届け、学校の先生から直接子どもたちに手渡ししていただいています。2016年度は約13万枚配布しました。

報告書をつくるにあたって、子どもたちの声をふりかえると、友だち関係、親との関係、自分自身に関して、等々子どもたちは様々な悩みを抱えていることがわかります。誰かに話を聞いてもらいたいと、自分と正面から向き合ってくれる大人を求めています。

中高生の自殺、虐待や暴力に関わる事件が目立つ中、子どもたちが自分の命を守ることができるのは、親との繋がり、親から大切に愛されているという実感が力になっていると思えます。

「チャイルドライン夢メッセージ展」では、乳幼児期から親子の絆をしっかりと育てたいと、『舞台鑑賞』『絵本ひろば』『コンサート』の3つのプログラムで、親子交流の場を作りました。ゆったりと、安心を感じる心地よさを味わって頂けたでしょうか。

子どもの声から見える現状

男女や年齢を問わず、親、友だち、教師等との人間関係の悩みが多くありました。共通して子どもたちが訴えていたのは、愛情を感じられない、信頼がおけない、自信がない、不安ということでした。今あるそのままの自分を認めてくれる人や、安心して過ごせる居場所を持たずにいます。

また、男の子からは性に関する電話が多くありました。性の正しい知識を学ぶ機会がないまま、多くの情報に振り回されています。

また、親が仕事から帰るまで怖いからかけたという幼い声もありました。

貧困、虐待、いじめ、自殺、体罰、親の離婚・再婚、SNS等による人間関係の変化等々、年々子どもを取り巻く状況は複雑になってきています。そうした中でも子どもたちは自ら何とかしようとする前向きな力を持っていることが電話の声から伝わってきます。

実施概要

実施日	毎週火曜日 16時～21時まで
電話番号	0120-99-7777 (全国统一番号フリーダイヤル)
運営委員会	人数：6名
受け手 スタッフ	人数：12名 時間：16時～21時まで3交代制
支え手 スタッフ	人数：4名
アドバイザー	人数：2名 ・鈴木小児科医院 鈴木 英太郎 ・臨床心理士 西村 秀明
事業開始年月	2004年2月開設 2004年6月より常設
2016年度 活動報告	・電話常設 ・研修会開催 受け手支え手の養成 ・チャイルドラインカード配布(9月) ・チャイルドライン夢メッセージ展開催 ・会議 運営会議、支え手会議 ・2016報告書作成

子どもたちの声

《小学校低学年》

- ・ホームラン打ったんだ！
- ・先生と一緒に遊んでとても楽しかった
- ・私が死んだらおかあさん喜ぶと思う
誰も心配していない
- ・家に一人ぼっちで怖いからかけた

《小学校高学年》

- ・両親が不仲で家にいたくない
- ・生きる意味がわからない
- ・(長く話した後) すっきりピカピカです
- ・チャイルドラインは「心の電話」です

《中学生》

- ・最近親が話してくれない
- ・親はどの子も同じように愛せるのか？
- ・期待に応えられない自分が嫌い
- ・学校って何のためにあると思う？
- ・新学期からどういうキャラでいけばいい？
- ・うまく笑えない 心から笑えない
- ・今日初めてリスカした
すっきりした気分になれなかった

《中卒～18才》

- ・理想の子を一生懸命やってきた
少しは勝手にしてもいいのでは…
- ・学校に12時間以上いる 先生に怒られっぱなし
- ・学校に行くとストレス 行かないと罪悪感
- ・本物の友達を作る方法は？
- ・周りとも探り探り話している
- ・ルールから外れているからやり直せないと思う
- ・同性を好きになってしまった 変ですか？
- ・彼女が妊娠したって 自分にも責任があるの？
- ・親が体を触ってくる

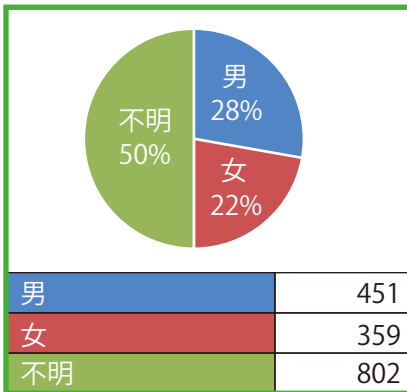
電話から見た子どもたちの現状

総着信数	1,612件
延べ通話時間	11,072分
最高時間	100分
平均通話時間	7分

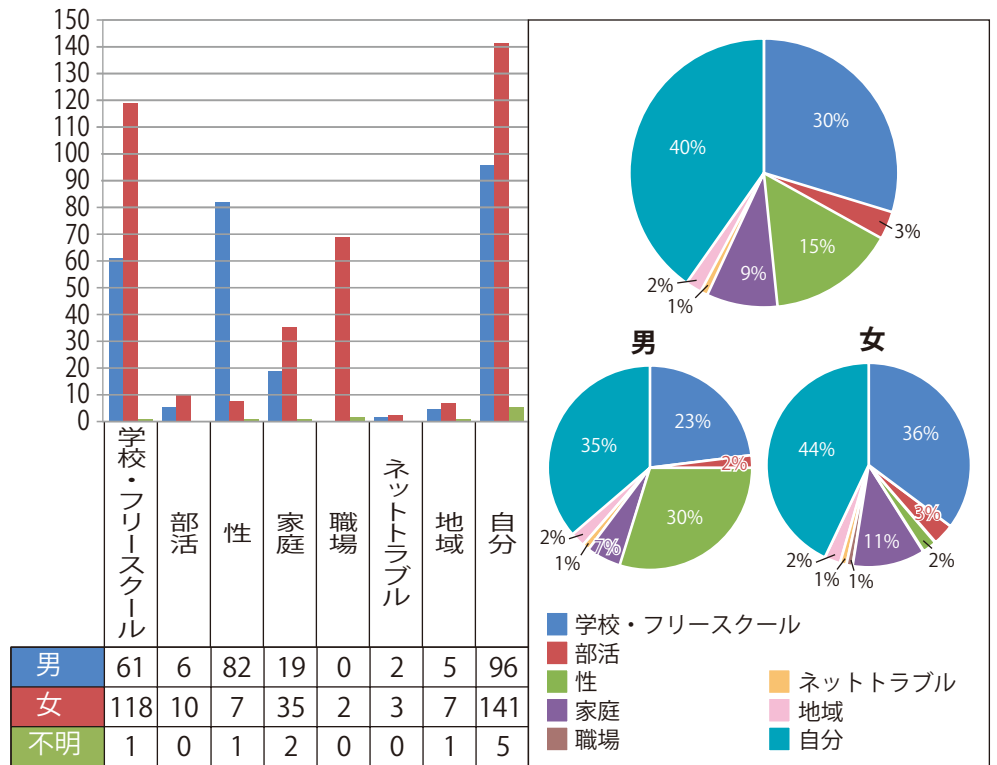
◆ 電話の種類 ◆

携帯電話	1,252件
固定電話	352件
PHS	6件
計	1,612件

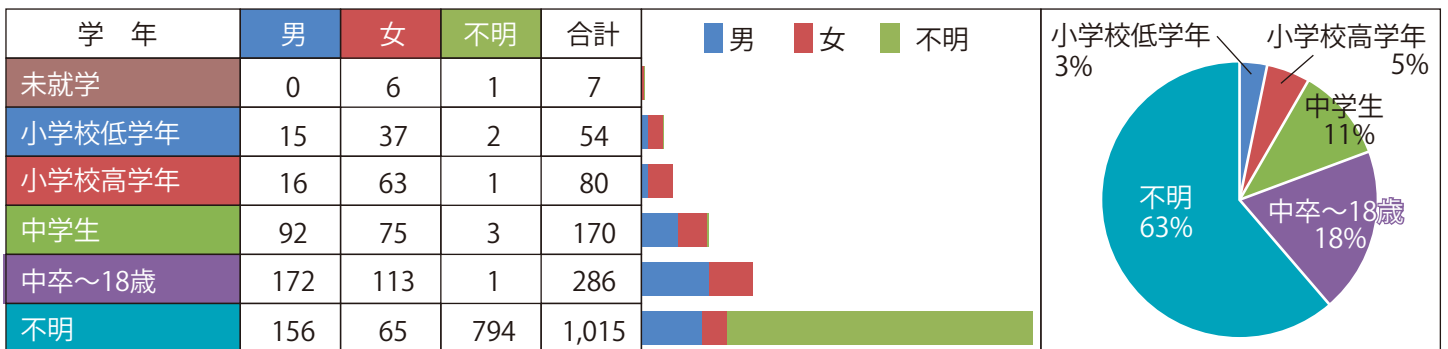
◆ 男女比 ◆



◆ 電話の内容 ◆



◆ 学年別着信数 ◆



※数値は全て件数

受け手の声より

受け手になって3年目を迎えています。しかし、受話器を取る時の私はいつもハラハラドキドキ。毎回、受話器の向こうの子どもたちから社会勉強をさせてもらっています。

「寂しくて、苦しくて、助けて欲しくて、居たたまれなくなって受話器を取る」そんな子どもたちがこんなにも多いなんて・・・。私の子ども時代よりはるかに豊かな時代になったはずなのに、心が満たされない子どもは反対に増えているのでしょうか？

そんな子どもたちの話を聞いて、最後に「話して良かった、あっそうか！ また電話してもいい？」と言ってくれた時、もう少し続けようかなと思う私です。

(第12期生)

「心に寄り添う」というチャイルドラインの役割を初めてとらえることができたのは、受け手を始めて間もない頃、悩みを周囲の誰にも相談できなかった子と話し続けていて、最後に「ありがうございました」と明るい声で電話を終えられた時でした。最初の頃は、かけてくる彼らの力になれるような言葉を投げかけたい、気の利いた助言などして役に立ちたいとおこがましい事を考えがちでしたが、チャイルドラインに勇気を出して電話してくる子どもたちは、その時点で悩みのほんの少しを解決できているのかもしれない。

受け手の役割とは、そんな勇気に少しだけ寄り添い、時にはゆるめ、時には後押しして「だいじょうぶだよ」と言ってあげることかなと感じています。

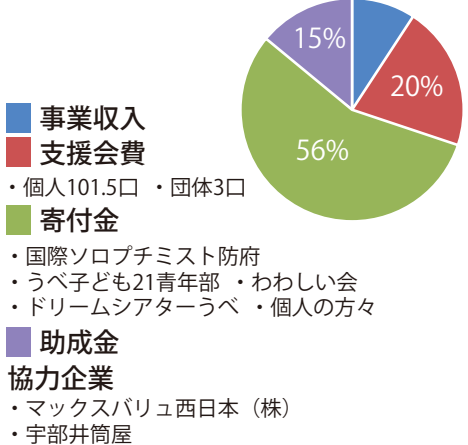
(第13期生)

チャイルドラインやまぐち第14期生受け手養成講座

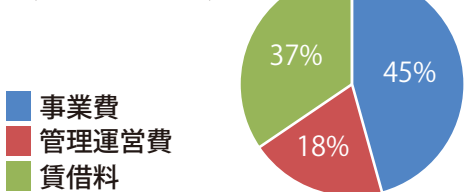
	日時	内容	講師
第1回 (公開講座)	10月15日(土) 14:00～16:00	今の子どもたち(Ⅰ) ～ネット社会に生きる子どもたち～	須永 祐慈 NPO法人ストップいじめ!ナビ 副代表
第2回 (公開講座)	10月30日(日) 14:00～16:00	今の子どもたち(Ⅱ) ～子ども虐待の現状～	西崎 宏美 NPO法人子どもシェルターモモ 副理事長
第3回 (公開講座)	11月6日(日) 10:00～12:00	子どもたちの性	安達 倭雅子 埼玉子どもを虐待から守る会 電話相談員
第4回 (公開講座)	11月10日(木) 19:00～21:00	子どもの現状と チャイルドラインとは	鈴木 英太郎 鈴木小児科医院 院長
第5回 (公開講座)	11月17日(木) 19:00～21:00	子どもをどうとらえるか ～子どもの権利条約を読み取ろう～	藪本 知二 山口県立大学社会福祉学部 教授
第6回	12月4日(日) 10:00～15:00	具体的事例にみる子どもの問題	西村 秀明 宇部フロンティア大学 教授 臨床心理士
第7回		具体的事例からロールプレイ	
第8回	12月11日(日) 10:00～15:00	受け手になるために	山本 多賀子 東京いのちの電話 トレーナー
第9回		ロールプレイ	
第10回	12月14日(水) 19:00～21:00	実務研修	チャイルドラインやまぐち スタッフ

チャイルドラインやまぐちの収支状況

◆収入の部◆



◆支出の部◆



チャイルドラインやまぐちの事業

- ① チャイルドラインの実施**
週1回(16:00～21:00)実施しています。
- ② 電話の「受け手」の養成・研修事業**
受け手の養成のため、毎年講座を開催しています。
また、公開講座として一般の方にも開放しています。
現在活動している「受け手」のためのスキルアップ講座を開催しています。
- ③ 子どもの問題に関する啓発事業**
 - ・子どもたちに電話番号を知らせるために、カードの配布を行っています。
 - ・「夢メッセージ展」の開催
絵本ひろばやアート体験等、親子と一緒に過ごす場として、また、チャイルドラインを社会に発信する場として、毎年開催しています。
 - ・「シーバルク」の開催
中高生や大人が子どもたちを見守る社会参画の場になります。

チャイルドライン夢メッセージ展 2016

PART1 「ミケーレ・カファッジの水とシャボン玉のクラウンショー Fish & Bubbles」

【実施日】2016年7月3日(日)
【会場】ときわ公園 遊園地 芝生広場



PART2 「絵本広場 心と心をつなぐ絵本との出会い」

【実施日】2016年8月9日(火)～11日(木・祝)
【会場】宇部井筒屋 4F イベントスペース



PART3 「シアタースタートinうべ ポロンポロンコンサート ～0歳からきける生まれて初めてのコンサート～」

【実施日】2016年10月13日(木)
【会場】宇部市立図書館



支援会員募集・寄付のお願い

チャイルドラインやまぐちは、多くのボランティアと皆様のご支援により運営しています。
より多くの子どもたちが安心して電話をかけられるように、ともに支えてくださいますようお願い申し上げます。

- 個人会費—1口 2,000円/年
- 団体会費—1口 5,000円/年

個人会費、団体会費、ご寄付とも、
下記口座へのお振込みをお願いいたします。

【郵便振替 振込先】 子ども劇場山口県センター

◆口座番号 01580-2-2558